

## 世界史

(解答番号  ~ )

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

地中海の東部では、前3000年代の後半から海上交易が行なわれるようになった。その結果、<sup>(a)</sup>エジプト、シリア・パレスチナ地域とクレタ島やエーゲ海沿岸地域が物資の往来で結ばれた。シリア・パレスチナ地域では、前12世紀ごろに <sup>(b)</sup>ヒッタイトや <sup>(c)</sup>エジプト新王国の勢力が衰えたことで、<sup>(d)</sup>フェニキア人がその支配から逃れ、独自の発展を始めた。一方、クレタ島やエーゲ海沿岸地域では <sup>(e)</sup>エーゲ文明が栄えていたが、前12世紀ごろになると諸王国が相次いで崩壊した。前8世紀ごろになるとギリシア人が各地にポリスを形成していった。彼らは、ポリスごとに対立・抗争を繰り返したため、統一国家をつくることはなかったが、<sup>(f)</sup>共通の文化や信仰を通じて同一民族としての意識を失うことはなかった。<sup>(g)</sup>

前7世紀に貴金属貨幣の使用が始まり、交易や手工業が活発化した結果、富裕になる平民も現れた。彼らは参政権を主張し、貴族と対立するようになった。こうして各ポリスで民主政への歩みが始まったが、最も典型的な民主政が出現したのはアテネだった。アテネでは、前7世紀以降、貴族と平民の抗争を収めるための諸改革が行なわれた。しかし、貴族と平民の対立は続き、前6世紀なかばには貴族出身の  が平民の支持を受けて非合法的独裁者となり僭主政を樹立した。僭主政崩壊後の前508年に  が指導者となり、貴族の特権を否定する改革を行なったことで、アテネでは民主政の基礎が築かれた。<sup>(i)</sup>ペルシア戦争勝利後の前5世紀なかばに <sup>(j)</sup>アテネの民主政は、ペリクレスの指導の下で完成した。

民主政期のアテネでは、国家の定例行事として、<sup>(k)</sup>演劇が競演されていた。演劇は市民への教育として特別な重要性をもっていたのである。また、弁論が重要性を帯びるようになった結果、弁論術の教師が登場し、その主張を批判するなかから哲学（フィロソフィア）が創始された。自然科学の分野においても、前6世紀には世界を合理的な思考によって理解しようとする <sup>(l)</sup>イオニア自然哲学が発達した。

ペルシア戦争に勝利し、<sup>(1)</sup>強大化したアテネであったが、<sup>(m)</sup>ペロポネソス戦争で敗北することとなる。長期にわたる戦争はギリシア全土を荒廃させただけでなく、勝利したスパルタもリュクルゴス制が動揺したことで弱体化した。前4世紀なかばになると、マケドニア王国が  のもとで急速に勢力を伸ばし、ギリシア連合軍をやぶってギリシアの覇権をにぎった。

問1 文中の空所ア、イに入れる人物の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① ア：クレイステネス      イ：テミストクレス  
 ② ア：クレイステネス      イ：ペイシストラトス  
 ③ ア：テミストクレス      イ：クレイステネス  
 ④ ア：テミストクレス      イ：ペイシストラトス  
 ⑤ ア：ペイシストラトス      イ：クレイステネス  
 ⑥ ア：ペイシストラトス      イ：テミストクレス

問2 文中の空所ウに入れる人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① アレクサンドロス大王      ② キュロス2世  
 ③ ダレイオス3世      ④ フィリッポス2世

問3 下線部(a)に関連して、古代エジプトについての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① ギリシアの歴史家トゥキディデス（トゥキユディデス）は、「エジプトはナイルの賜物」と評した。  
 ② 中王国では、クフ王らが王の権威を象徴するピラミッドをつくらせた。  
 ③ 古代エジプト人は靈魂不滅を信じてミイラをつくり、「死者の書」を残した。  
 ④ 1年を354日とし、13か月の閏年をいれて調整する太陰暦が用いられた。

問4 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① アフロ・アジア語系に属していた。  
 ② 青銅製武器と馬にひかせた戦車を用いる強大な軍隊を組織した。  
 ③ 新バビロニア（カルデア）を滅ぼした。  
 ④ カデシュでエジプトと戦い、現存する世界最古の国際条約を結んだ。

3 (世界史)

(世界史) 4

問5 下線部(c)に関連して、アメンホテプ(アメンヘテプ)4世(アクエンアテン)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 5

- ① ヒクソスを撃退し、新王国を成立させた。
- ② 首都をメンフィスからアマルナ(テル・エル・アマルナ)に移した。
- ③ アメン神を唯一神とする宗教改革を断行した。
- ④ 宗教改革は王の死で挫折したが、写実的なアマルナ美術が生み出された。

問6 下線部(d)に関連して、フェニキア文字についての記述として適切なでないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 6

- ① 母音と子音を表す文字から成っていた。
- ② 表音文字である。
- ③ ギリシア文字を経て、ラテン文字(ローマ字)に継承された。
- ④ アラム文字を経て、アラビア文字に継承された。

問7 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 7

- ① クレタ文明(ミノス文明)の存在は、シュリーマンによって実証された。
- ② クレタ文明で用いられた線文字Aは、ヴェントリスによって解読された。
- ③ ミケーネ文明は、貢納組織と官僚制をもつ国家だった。
- ④ ミケーネ文明では宮殿に城壁がなく、平和で開放的な性格だった。

問8 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 8

- ① すべてのギリシア人がポリスを形成した。
- ② アクロポリスには守護神をまつる神殿がつくられた。
- ③ アテネはドーリア人のポリスである。
- ④ 世襲の農地「持ち分地」(クレロス)は貴族だけが所有していた。

問9 下線部(g)についての記述として適切なでないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 9

- ① 共通の言語とオリンポス12神に代表される神々への信仰を有していた。
- ② 自らをヘレネスとよんでいた。
- ③ デルフォイのアポロン神の神託が有する権威を共に認めていた。
- ④ 4年に1度オリンピアで祭典が開かれ、男女問わず参加・観戦できた。

問10 下線部(h)に関連して、ドラコンが行なった改革についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 10

- ① 慣習法を成文化することで、法による秩序維持をはかった。
- ② 中小農民を保護し、商工業を奨励した。
- ③ 借財を負った市民を奴隷として売ることを禁止した。
- ④ 地縁にもとづくデーモス(区)を基礎とする10部族制を創設した。

問11 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 11

- ① ササン朝ペルシアがギリシア全土を服属させるために起こした戦争である。
- ② マラトンの戦いでスパルタがペルシアを打ちやぶった。
- ③ アテネ・スパルタ連合軍がプラタイア(プラタイアイ)の戦いで勝利した。
- ④ アテネはサラミスの海戦で敗北し、占領され破壊された。

問12 下線部(j)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 12

- ① すべての役職が抽選で選ばれた。
- ② 貧富にかかわらず、成年男性市民に参政権が与えられた。
- ③ 元老院が国政の最高決定機関であった。
- ④ 参政権の対象となる市民には在留外国人も含まれていた。

問13 下線部(k)に関連して、古代ギリシアを代表する喜劇作家として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 13

- ① アイスキュロス                      ② アリストファネス  
③ エウリピデス                        ④ ソフォクレス

問14 下線部(l)に関連して、万物の根源を数とみなし、数学の基礎を築いた人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

14

- ① アルキメデス                        ② エウクレイデス (ユークリッド)  
③ デモクリトス                        ④ ピタゴラス

問15 下線部(m)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 15

- ① コリントス同盟を支配下におくアテネの勢力拡大が対立の要因だった。  
② スパルタはペルシアの支援を得てアテネに勝利した。  
③ アテネの指導者ペリクレスは最後まで戦ったが敗北した。  
④ スパルタはカイロネアでアテネに勝利した。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

フランスでは、1589年にアンリ4世が即位し、ブルボン朝が成立した。アンリ4世は、<sup>(a)</sup>国内の 宗教をめぐる争いを終結させ、王を中心とした主権国家体制を整えた。ルイ14世の時代には、<sup>(b)</sup>国王への中央集権がさらに強化された。絶対王政とよばれるこの統治体制下で、華麗な宮廷文化が開花し、フランスは、<sup>(c)</sup>ヨーロッパ文化の中心地となった。その一方、政策の失敗や相次ぐ 対外戦争により、<sup>(d)</sup>経済は混乱した。

フランスの国家財政は悪化し続け、ルイ16世の時代には危機的な状況に陥った。財政<sup>(f)</sup>改革を進める国王は、特権身分への課税を試みるものの、激しい抵抗にあって実現できずにいた。特権身分への課税をめぐって三部会が招集されると、特権身分と 第三身分の対立が激化する。第三身分の議員は独自に ア を形成し、憲法制定まで解散しないという「球戯場の誓い」を行なった。

1789年7月のバスティーユ牢獄襲撃をきっかけにフランス革命が始まった。

ア は、人権宣言を採択し、人間の自由と平等、国民主権、私有財産の不可侵など革命の理念を掲げた。<sup>(h)</sup>啓蒙思想は、このような革命の理念に大きな影響を与えた。

革命勃発以後もルイ16世は権力の回復をはかろうとしたが、成功しなかった。そして、1791年6月、王は妻マリー・アントワネットの母国である、オーストリアへの逃亡をはかるも失敗し、王家への国民の信頼は失われた。<sup>(i)</sup>

1791年憲法にもとづき、制限選挙によって成立した イ を経て、1792年9月に男性普通選挙によって新たに成立した ウ は、共和派が多数を占め、王政廃止と共和政が宣言された。その後裁判を経て、1793年に旧国王夫妻は処刑された。

ウ で勢力を強めたジャコバン派は、革命に抵抗する勢力を弾圧する恐怖政治を行なった。恐怖政治が終わった後、革命の終結を求めた穏健共和派は、1795年憲法を制定し、総裁政府が成立した。しかし、対外戦争や王党派の反乱で政権は安定しなかった。

そのなかで、社会の安定を求める人々の期待を集めたのが、軍人、ナポレオンであった。ナポレオンは、1804年に国民投票で皇帝となり、独裁的な権力をふるった。ヨーロッパ大陸の支配をめざしたナポレオンは、やがて征服者として人々の反発を受けるようになった。フランス支配への抵抗運動は、各地で「国民」の意識を高め、<sup>(k)</sup>ロマン主義の潮流とも呼応した。

18世紀後半から19世紀前半にかけて、大西洋を囲む地域では、フランス革命だけでなく、イギリスの産業革命や、アメリカ合衆国の独立、そして ラテンアメリカ諸国の独立など大きな社会変革が相次いだ。<sup>(l)</sup><sup>(m)</sup><sup>(n)</sup>

問1 文中の空所ア～ウに入れるのに最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークして答えなさい。 16

- ① ア：国民公会    イ：立法議会    ウ：国民議会
- ② ア：国民公会    イ：国民議会    ウ：立法議会
- ③ ア：立法議会    イ：国民公会    ウ：国民議会
- ④ ア：立法議会    イ：国民議会    ウ：国民公会
- ⑤ ア：国民議会    イ：立法議会    ウ：国民公会
- ⑥ ア：国民議会    イ：国民公会    ウ：立法議会

問2 下線部(a)に関連して、フランスを支配した王朝を年代の古いものから順に正しく配列したのものとして最も適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、マークして答えなさい。 17

- ① カペー朝      → カロリング朝    → ヴァロワ朝    → ブルボン朝
- ② カペー朝      → ヴァロワ朝    → カロリング朝    → ブルボン朝
- ③ カロリング朝 → カペー朝      → ヴァロワ朝    → ブルボン朝
- ④ カロリング朝 → ヴァロワ朝    → カペー朝      → ブルボン朝
- ⑤ ヴァロワ朝    → カペー朝      → カロリング朝    → ブルボン朝
- ⑥ ヴァロワ朝    → カロリング朝    → カペー朝      → ブルボン朝

問3 下線部(b)に関連して、次の記述A、Bについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 18

A スペインのフェリペ2世によるプロテスタント化政策への反発を背景に、オランダ独立戦争が起こった。

B 16世紀後半のフランスでは、ユグノーとよばれるルター派の信徒が増え、カトリック教徒との対立が深刻化した。

- ① A — 正    B — 正
- ② A — 正    B — 誤
- ③ A — 誤    B — 正
- ④ A — 誤    B — 誤

問4 下線部(c)についての記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 19

- ① カントなどの王権神授説は絶対王政を理論的に正当化した。
- ② フランスのルイ14世は官僚制を整え、常備軍を増強した。
- ③ スペインのフェリペ2世は、東南アジアに植民地フィリピンを建てた。
- ④ スペイン王カルロス1世は、神聖ローマ皇帝にも選出された。

問5 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 20

- ① ルイ14世は、絢爛豪華な鏡の間で知られる、ロココ様式のヴェルサイユ宮殿を造営した。
- ② 商業が栄えた17世紀のオランダでは、貴族だけでなく裕福な市民も文化の庇護者となった。
- ③ 17世紀には自然法則を合理的に説明しようとする思考が生まれ、フランシス・ベーコンは演繹法による合理論を唱えた。
- ④ 三角貿易を通して、アジア原産の新奇な商品であるタバコが大量にもたらされた。

問6 下線部(e)に関連して、ルイ14世の治世下に行なわれた対外戦争として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 21

- ① オーストリア継承戦争                      ② 七年戦争
- ③ スペイン継承戦争                            ④ オランダ独立戦争

問7 下線部(f)に関連して、ルイ14世によって財務総監(財務長官)に任命された人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

22

- ① テュルゴ            ② コルベール        ③ マザラン            ④ ネットレル

9 (世界史)

(世界史) 10

問8 下線部(g)に関連して、『第三身分とは何か』の著者として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 23

- ① オランブ・ド・グージュ                      ② ラ・ファイエット
- ③ ジェファソン                                      ④ シエイエス

問9 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 24

- ① 18世紀フランスのサロンでは自由な討論が交わされ、サロンは啓蒙思想が広まる場となった。
- ② プロイセンのフリードリヒ2世は啓蒙専制君主として、農業を経済の基礎とする重農主義政策を進めた。
- ③ 啓蒙思想を象徴する著作として、モンテスキューの『法の精神』や、ロック、デイドロらが編纂した『百科全書』があげられる。
- ④ ロシアのエカチェリーナ2世は啓蒙専制君主として、抑圧されていた農奴を解放する政策をとった。

問10 下線部(i)についての記述として**適切でないもの**を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 25

- ① マリア・テレジアの家督継承をめぐる、フリードリヒ・ヴィルヘルム1世のプロイセンと戦争が勃発した。
- ② ヨーゼフ2世は啓蒙専制君主として信教の自由を重視し、カトリック修道院を解散させた。
- ③ ヤゲウォ（ヤギェウォ）朝が途絶えた後、混乱したポーランドの国土をロシア、プロイセンとともに奪った。
- ④ カロロヴィッツ条約で、ハンガリーの支配権をオスマン帝国から獲得した。

問11 下線部(j)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 26

- ① ローマ教皇と対立し、和解することはなかった。
- ② 北アメリカの植民地フロリダをアメリカ合衆国に売却した。
- ③ 大陸封鎖令を出して、ヨーロッパ諸国にイギリスとの通商を禁止した。
- ④ 退位直後に、フランスではルイ・フィリップが即位して七月王政が成立した。

問12 下線部(k)に関連して、19世紀ロマン主義の作品として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 27

- ① デフォーの『ロビンソン・クルーソー』
- ② ユゴー（ユーゴー）の『レ・ミゼラブル』
- ③ スウィフトの『ガリヴァー旅行記』
- ④ マルクスの『資本論』

問13 下線部(l)についての記述として**適切でないもの**を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 28

- ① 産業革命はマンチェスターを中心に始まった。
- ② 首相ピットは、フランス革命に対抗するために、対仏大同盟を組んだ。
- ③ アミアンの和約により、ナポレオンのフランスと講和した。
- ④ アメリカ南部のプランテーションから茶が大量に輸入されていた。

問14 下線部(m)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 29

- ① ポーランドのコシューシコは、アメリカ独立軍に義勇兵として参加した。
- ② 北アメリカにあったイギリスの13植民地には一定の自治が認められ、本国の議会へも議員を選出していた。
- ③ トマス・ペインが『独立宣言』を起草した。
- ④ ジャクソンを初代大統領としてアメリカ合衆国政府が成立した。

問15 下線部(n)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 30

- ① アメリカ合衆国は、ラテンアメリカ諸国の独立運動に干渉した。
- ② メキシコでは、サン・マルティンを指導者として、インディオやメステイソが蜂起した。
- ③ フランス領サン・ドマングは、世界ではじめて植民地支配を脱した黒人国家ハイチとして独立した。
- ④ ラテンアメリカ諸国の独立運動は、先住民や黒人奴隷たちが主な担い手であった。

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

ロシアでは19世紀末から20世紀の初めごろ、専制体制の転換を求める声が高まり、マルクス主義を掲げる、ロシア社会民主労働党などが結成された。日露戦争における戦況の悪化から、血の日曜日事件が起こると、全国各地で農民蜂起とストライキが発生した。国内において社会不安が高まるなか、ア 大統領の仲介によって、ポーツマス条約が締結された。

他方、国際情勢に目を向けると、列強体制の二分化によって、2次にわたるバルカン戦争、次いで、第一次世界大戦が引き起こされることになった。史上初の総力戦のなか、イ における労働者と兵士による反乱をきっかけに、社会主義政権の樹立につながる、ロシア革命が始まった。第一次世界大戦後、ソヴェト社会主義共和国連邦(ソ連)では、スターリンのもと、計画経済が開始された。市場経済とは異なる経済システムの導入によって、世界恐慌の打撃もソ連はさほど受けることがなかった。

1939年、世界大戦が再び引き起こされる。枢軸諸国との交戦のなか、第二次世界大戦後の国際構想が連合諸国によって打ち出されていった。戦後には、資本主義陣営と社会主義陣営のあいだで、冷戦とよばれる緊張状態が高まっていった。スターリンの死後、ソ連において「雪どけ」とよばれる外交政策の見直しが始まり、これによって冷戦による緊張状態は一時的に緩和された。

問1 文中の空所アに入れるのに最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 31

- ① セオドア・ローズヴェルト
- ② アイゼンハワー
- ③ マッキンリー
- ④ フランクリン・ローズヴェルト

問2 文中の空所イに入れるのに最も適切な地名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 32

- ① モスクワ
- ② タンネンベルク
- ③ ノヴゴロド
- ④ ベトログラード

問3 下線部(a)に関連して、次の記述A、Bについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **33**

- A ポリシェヴィキは、ベルンシュタインを中心に、社会主義革命を追求した。  
B メンシェヴィキは、ブレハーノフを中心に、穏健な改革を志向した。

- ① A — 正 B — 正  
② A — 正 B — 誤  
③ A — 誤 B — 正  
④ A — 誤 B — 誤

問4 下線部(b)に関連して、その後の諸状況についての次の記述A～Cのうち、正しいものはどれか。当てはまる記述をすべて選び、その組合せとして最も適切なものを、後の①～⑦の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **34**

- A 皇帝ニコライ2世は十月宣言を発し、国会（ドゥーマ）の開設を拒絶した。  
B 改革派のウィッテ（ヴィッテ）が首相に就任した。  
C 首相ストルイピンは、農村共同体を解体して自営農民の創出をはかった。

- ① A                      ② B                      ③ C                      ④ AとB  
⑤ AとC                  ⑥ BとC                  ⑦ AとBとC

問5 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **35**

- ① ロシアは、樺太（サハリン）南部の領有権を失った。  
② 日本は、台湾の指導・監督権を獲得した。  
③ ロシアは、山東半島南部の租借権を失った。  
④ 日本は、シベリア鉄道南部の利権を獲得した。

問6 下線部(d)に関連して、次のA～Cの出来事を年代の古いものから順に正しく配列したものとして最も適切なものを、後の①～⑥の中から一つ選び、マークして答えなさい。

**36**

- A ロシアは英露協商を結んで、イギリスと和解した。  
B ロシアはフランスに接近し、露仏同盟を結んだ。  
C ドイツは、ロシアとの再保障条約の更新を見送った。

- ① A → B → C  
② A → C → B  
③ B → A → C  
④ B → C → A  
⑤ C → A → B  
⑥ C → B → A

問7 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **37**

- ① ロシアの後援で、セルビア、ブルガリア、モンテネグロ、ギリシアがバルカン同盟を結成した。  
② イギリス、フランス、ロシアのあいだで、オスマン帝国領の分割を取り決めたフサイン・マクマホン協定が結ばれた。  
③ ソヴィエト政権は、ドイツをはじめとする協商国と、ブレスト・リトフスク条約を結んで講和した。  
④ イタリアは、ロンドン秘密条約で、ヴェネツィア返還の約束を秘密裏に協商国側からとりつけた。

問8 下線部(f)に関連して、次の記述A、Bについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **38**

- A トロツキーは、一国社会主義論を主張した。  
B 社会革命党(エスエル)のケレンスキーは、臨時政府の首相となった。

- ① A — 正 B — 正  
② A — 正 B — 誤  
③ A — 誤 B — 正  
④ A — 誤 B — 誤

問9 下線部(g)が始まってからソ連が成立するまでの期間についての記述として適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **39**

- ① 戦時共産主義をしいて、中小企業にまでおよぶ国有化などの措置をとった。  
② 社会主義革命を世界に広げる目的で、コミンテルンを創設した。  
③ 新経済政策(ネップ)を宣言して、市場経済の導入に踏みきった。  
④ 四月テーゼを発表し、土地の私的所有の廃止を唱えた。

問10 下線部(h)に関連して、次の記述A～Cのうち、正しいものはどれか。当てはまる記述をすべて選び、その組合せとして最も適切なものを、後の①～⑦の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **40**

- A 1922年のラパロ条約によって、ソ連はドイツから国家承認を受けた。  
B パリ講和会議において、ルーマニアの独立が承認された。  
C 1920～21年のソヴィエトとの戦争によって、ポーランドは領土を拡大した。

- ① A                    ② B                    ③ C                    ④ AとB  
⑤ AとC                ⑥ BとC                ⑦ AとBとC

問11 下線部(i)に関連して、次の記述A、Bについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **41**

- A 土地、農具、家畜を共有する農民の共同農業経営組織をコルホーズという。  
B 農業経営のモデルとなる民営の大規模農場をソフホーズという。

- ① A — 正 B — 正  
② A — 正 B — 誤  
③ A — 誤 B — 正  
④ A — 誤 B — 誤

問12 下線部(j)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **42**

- ① フランスとオーストリアの宥和政策に不信を強めたソ連は、ドイツとの提携へと方針を転換した。  
② 独ソ戦をきっかけに、イタリアとソ連は同盟を結んだ。  
③ イギリスのバルカン進出に危機感を強めたソ連は、東への備えとして日ソ中立条約を締結した。  
④ アメリカは武器貸与法にもとづいて、イギリスとソ連に武器・軍需品を送った。

問13 下線部(k)に関連して、第二次世界大戦中から戦後にかけての各国の動向についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 **43**

- ① ポツダム宣言を具体化するため、アメリカ、イギリス、ソ連、中国は国際連合憲章の原案をまとめた。  
② 国際連合の安全保障理事会の常任理事国となった、アメリカ、イギリス、ソ連、フランス、中国、ベルギーには拒否権が認められた。  
③ 第二次世界大戦後のベルリンは、アメリカ、イギリス、ソ連、中国によって分割管理された。  
④ ソ連による南樺太と千島列島の領有は、アメリカ、イギリス、ソ連によって結ばれたヤルタ協定において認められた。

17 (世界史)

問14 下線部(i)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

44

- ① ソ連は、陣営の結束をはかるため、各国共産党の情報交換機関としてコミンフォルムを結成した。
- ② ソ連は、マーシャル国務長官が発表した財政支援の受け入れを受諾した。
- ③ トルーマン大統領は、ソ連勢力の拡張に対する「封じ込め」政策を宣言して、ユーゴスラヴィアの内戦に介入した。
- ④ ソ連は、バグダード条約機構を発足させて、ソ連圏の経済的な結びつきを固めた。

問15 下線部(ii)についての記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

45

- ① フルシチョフは、スターリン時代の個人崇拜を批判し、自由化の方向を打ち出した。
- ② ゴムウカは、ボズナニ暴動を収束させて、ソ連による軍事介入を防いだ。
- ③ ソ連は、ナジ政権におけるソ連圏からの離脱の動きを軍事介入によって鎮圧した。
- ④ ユーゴスラヴィアは、コミンフォルム（共産党情報局）から除名された。